

代表樹種 ヤマザクラ



〔撮影場所; 畑貯水池上流 音瀧千本桜〕

バラ科 ヤマザクラ（山桜） 落葉広葉高木 樹高10～15m

ヤマザクラは新芽と一緒に咲くので独特の中間色となり簡単に見分けられる。若芽の色は黄緑色、褐色、紅紫色など様々で木々によって白っぽい黄緑色や淡い紅色、黄土色と正に色とりどりである。開花時期はソメイヨシノより若干遅いのが普通であるが、最近は早めに咲くのが観察される。

ソメイヨシノが出現する以前は、サクラといえばこのヤマザクラを指していた。濃淡、彩りが様々でより野生種であることを感じさせる。

右に示す花の密度が小さいことが透過効果となって様々な色合いや印象を感じさせるところがヤマザクラの特性と言える。



街路樹としての代表的路線

八幡西区 主要地方道小倉中間線

戸畑区 西鞆ヶ谷19号線

花の密度の違い ヤマザクラ



ソメイヨシノ